

5月30日（木）ろう教育部門2「乳幼児教室について」

乳幼児教室では、きこえに障害のある0歳から就学までのお子さんの相談や継続的な支援を行っています。

① 個別相談

一人一人のお子さんのきこえや発達に応じて、遊びを通して指導したり、保護者の関わり方について支援したりします。

② 補聴相談

医療機関、補聴器会社と連携しながら相談に応じます。必要に応じて、聴力測定やお子さんに合った補聴器を選び、調整を行います。人工内耳についての情報提供も行います。

③ グループ活動

「0・1歳児」「2歳児」に分かれて、月齢や発達に応じた活動を行います。同年代のお友達と一緒に遊ぶことを通して、生活習慣や社会性、ことばの基礎を育てます。保護者同士の交流の場にもなります。

④ 保護者講座

講話や懇談会を通して、きこえや子育てについての質問に答えたり、理解が深まるように支援したりします。

耳が聞こえにくいと周りの人の話がよく聞こえないので、ことばを理解したり、まねをしたりすることが上手くできません。そのまま放っておくと、ことばの発達が遅れてしまいます。特に、0・1・2歳はことばを獲得する上で最も大切な時期です。聞こえにくくても、この時期に適切な教育を受けることにより、望ましい言語発達が期待されます。

<担当者が大切にしていること>

- ・相談に来られる保護者は、不安や戸惑い、苦しさなどさまざまな感情を抱いていらっしゃることも少なくありません。保護者の思いを受け止め、安心感をもってもらえるよう、寄り添いながら相談ができるよう心掛けています。
- ・1回1回の相談が保護者にとってどれだけ重要かを念頭に置き、その時々で一番必要としていることをお話しする中から感じ取るようにしたいと思っています。
- ・お子さんのわずかな変化も見逃さず、保護者も我が子の成長に気付いて喜べるような支援をしたいと思っています。